

平成31年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

1. 《大慈弥勒園基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的・肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れず“生活の場”として、ゲストやご家族に満足していただけるサービスを提供する。特養においては、認知症専門棟及び一般棟の特色を活かしたケアができる様に努める。

2. 《中長期計画》

●最終目標（5カ年）

『選ばれる施設になる』・・・新規採用者25名以上の応募がある

●中長期目標（3カ年）

- ①遠藤メソッドが活用され、指導方法とケア内容を統一
- ②次世代を担う優秀な職員の育成
- ③新規採用者15名以上の応募がある

●平成31年度目標

『組織力の向上』・・・新規採用者5名以上の応募がある

- ①メンタルコーチと共にチームビルディングを実践
- ②大規模修繕計画の策定と効率を意識した修繕の実施
- ③充足率98%維持を目指し、経営基盤の安定を図る
- ④要援護者支援センターとして、地域の見守り支援を行う

●課題及び実践内容

深刻な人材不足を解消するためには、まず私達が同じ方向を向き、職員全員が一体となって目標を達成していく組織に変化することが重要だと考えた。そのために30年度より外部のメンタルコーチを起用し、新たなチームが始動した。伴い、最終目標・中長期計画の変更を行い、目標達成を実現したい。その上、現在行っている作業の一つ一つまたは委員会運営等の目的を再認識する機会を作り、手段と目的が曖昧にならないような組織づくりと活動を実践する。また、記録的な非常災害の発生、介護職員の確保が困難であること等、業界を取り巻く課題は多く、大規模修繕等の施設整備計画を作成・実行する中で、業務効率や職員確保策を意識した整備を実施する。

3. 《ケア部門》

<目標>

●部門別目標

◎『組織力の向上』・・・新規採用者5名以上の応募

- ①メンタルコーチと共にチームビルディングを実践
- ②まんだら目標達成シートを基に各プロジェクトが動く
- ③各プロジェクト目標と個人の目標（特性）が一致

4. 《経営部門》

<目標>

- ①充足率98%維持を目指し、経営基盤の安定を図る
- ②人財確保及び新規顧客獲得のため、広報活動の推進を図る
- ③要援護者支援センターとして地域の見守りと基幹福祉避難所の開設訓練を実施

5. 《相談援助部門》

<目標>

- ①情報共有が円滑に図れ、相談部門のチーム力を高める
- ②目的や基準を理解した上で、業務整理と環境整備を実施する。

6. 《看護部》

<目標>

『心地よい看護を安心・安全・安楽に展開する』

- ①個々のニーズに応じた看護を提供する
- ②心地よく業務遂行出来る環境づくり

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線、採血
6月	全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、 腰椎X線（介護職員のみ）等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	介護職員定期検診	採血
随時	雇入時健診	胸部X線、採血

<週間診療表>

曜日	午前 午後	診療科目	頻度
月	午前・午後	内科	毎週
火	午前・午後	内科	毎週
	午後	精神科	毎週
水	午前	整形外科	毎週
	午後	皮膚科	月2回
		歯科	毎週往診
木	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
金	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
		糖尿内科	毎週
土	午前	内科	毎週
	午後	精神科	毎週
平日	午後	眼科	1ヶ月毎

※耳鼻科等は、外部へ随時受診。

7. 《理学療法科》

<目標>

- ①日常生活動作レベルの変化に順じた対応が出来る
- ②個別機能訓練の充実（計画・実施・算定）が図れる

8. 《事務部》

<目標>

- ①協働作業を通じ、ノウハウの共有を推進（5 S活動推進）

<主要業務>

事業名	内容	備考
事務局運営事業	電話の対応、窓口対応、来客者対応 賞与振込	全施設（随時） 全施設（4月、7月、12月5日まで）
	給与振込 所得税・住民税納付 介護報酬請求・診療報酬請求・措置費請求 利用者請求 業者支払い 処方箋の発行	全施設（毎月15日まで） 全施設（毎月10日まで） 全施設（毎月15日まで） 月末締め、翌月20日払い 診療所（随時）
	利用者預かり金の出納管理 立替金の管理 年末調整 監査資料の準備 各種アンケートへの記入 その他庶務（在庫管理、入退所手続き等）	全施設（随時） 全施設 全施設（12月） 全施設（6月） 随時

9. 《栄養科》

<目標>

- ①調理の味と質の安定をはかる（3カ年）
- ②大慈園全体の食事ケアの向上をはかる

<月間行事食予定>

行事食	頻度
家族食事会、おやつ作り	毎月1回
行事食（赤飯）	毎月1日
選択食（朝食）	毎日
誕生会	誕生日、第3月曜
間食飲み物選択	毎日
おやつ	月3～4回

<年間行事食予定>

月	年間行事	月	年間行事
4月	餅つき	10月	土鍋・さんまバイキング
	お花見パーティー		パンバイキング
		11月	刺身提供の日
5月	焼肉バイキング	11月	焼き芋
	土鍋ご飯		串揚げバイキング
	母の日		おでんバイキング
6月	父の日	12月	クリスマス会
	焼き鶏バイキング		年越しそば
	揚げ物バイキング	1月	正月料理
7月	七夕		七草粥
	いい肉の日		お寿司バイキング
	おにぎり・素麺バイキング	2月	節分
8月	地藏盆		鍋・ぞうすいバイキング
	夏祭り	3月	ひな祭り
	お好み焼き・焼きそばバイキング		刺身提供の日
9月	敬老の日		おでんバイキング
	パンバイキング	中華バイキング	
	お好み焼き・焼きそばバイキング		

10. <環境整備計画>

大規模修繕計画を作成し、老朽化による修繕と業務効率を意識した施設整備を実施する。

- ①介護ソフト（ほのぼの）のライセンス更新
- ②煙感知器の交換
- ③電話・PHS・Wi-Fi 環境整備
- ④Windows 7 の製品サポート終了に伴う PC 入れ替え
- ⑤その他（設備関連工事等）

11. <地域貢献事業計画>

- ①社会貢献委員会が主催する行事
- ②地藏盆の開催
- ③社会福祉法人等による利用者負担軽減制度
- ④ほっとかへんネット KOBE・西との連携

12. <防火防災計画>

目的：非常非常災害時（地震、火災等）に対する防災意識向上や警戒発令時の敏速な対応等、総合的な推進を図り、被害の軽減を図る。また、要援護者支援センター（基幹福祉避難所）として地域の要援護者の見守り業務と基幹福祉避難所の開設訓練を実施する。

月	訓練内容
4月	電話訓練、防災・消防の図上及び検証訓練
5月	災害研修（新人）、昼想定総合訓練（通報・消火・避難）

6月	メール訓練
7月	災害時用備蓄庫の点検・清掃作業
8月	図上訓練
9月	消火訓練(初期消火・消火器、消火栓取扱い)
10月	電話訓練
11月	夜間想定 of 総合訓練(通報・消火・避難)、不審者対策訓練
12月	メール訓練
1月	救助訓練(地域)、神戸市シェイクアウト訓練
2月	基幹福祉避難所(福祉避難所)開設訓練
3月	宿直者対象の放送設備の説明

13. <<衛生管理>>

害虫駆除(年2回)、口腔ケア(毎食後)、寝具交換(週1回)

14. <<委員会活動等>>

委員会名		
サービス向上委員会	事故再発防止対策委員会	身体拘束適正化検討委員会
感染症防止対策委員会	非常災害時対策委員会	看取り介護委員会
給食委員会	医療的ケア委員会	褥瘡防止対策委員会
事業戦略推進会議	学習療法推進委員会	労働衛生推進委員会
人事委員会	研修委員会	予算管理委員会
広報委員会	社会貢献委員会	モチベーションアップ委員会
こども参観会議		

15. <<職員会議等>>

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	経営会議	DS369会議	会計会議
	部門会議	事務部会	仏間会議	全体会議
随時	ケアカンファレンス、			

16. <<月行事・行事食予定>>

月行事	頻度
家族食事会、理髪、チェリッシュパン販売、バイキング、外出の日買い物外出、コーヒー喫茶、	毎月1回
ミュージックセラピー	毎月4回
パン販売	毎週1回
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚥下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、くもん式学習療法、園芸療法	随時

17. <<年間行事・行事食予定>>

月	年間行事	月	年間行事
4月	お花見	9月	敬老の日
	設立記念日		遠足

5月	遠足	12月	忘年会
	母の日		クリスマス
6月	父の日	1月	餅つき
	買物ツアー		元旦（正月料理）
7月	七夕		初詣
8月	素麺大会	2月	節分
	地藏盆		ひな祭り
	夏祭り	3月	遠足

18. 《職員配置》ショート含む定員115名

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	2名
看護職員	管理栄養士	介護職員（正職）	介護職員（パート）	
7名	2名	32名	27名	